

指数法則

- $a^2 = \underbrace{a \times a \times \cdots \times a}_{n \text{ 個}}$
- $a^m \times a^n = \underbrace{(a \times \cdots \times a)}_{m \text{ 個}} \times \underbrace{(a \times \cdots \times a)}_{n \text{ 個}} = a^{m+n}$
- $(a^m)^n = \underbrace{a^m \times \cdots \times a^m}_{n \text{ 個}} = a^{mn}$
- $(ab)^n = \underbrace{(a \times b) \times \cdots (a \times b)}_{n \text{ 個}} = a^n b^n$

複素数の計算

虚数 i $i^2 = -1$ を満たす数

複素数 $a + bi$ の形の数 (a, b は実数)

- 実数 a は $a + 0 \times i$ という形の複素数と考えることができる。
- ai の形の複素数を純虚数という。
- 複素数の計算は文字式の計算と思ってよい。ただし $i^2 = -1$ となる。

演算の法則

- 交換法則 $a + b = b + a, ab = ba$
- 結合法則 $(a + b) + c = a + (b + c), (ab)c = a(bc)$
- 分配法則 $a(b + c) = ab + bc, (a + b)c = ac + bc$

不等式の基本性質 教科書 p.30

- $a < b$ ならば $a + c < b + c$

同じ数を加えても，大小関係は変わらない。

- $a < b$, $m > 0$ ならば $am < bm$

- $a < b$, $m < 0$ ならば $am > bm$

負の数をかけると，大小関係は逆になる。

- $ab > 0$ ならば 「 $a > 0$ かつ $b > 0$ 」 または 「 $a < 0$ かつ $b < 0$ 」

- $ab < 0$ ならば 「 $a > 0$ かつ $b < 0$ 」 または 「 $a < 0$ かつ $b > 0$ 」